

東海大学大学院 2016年度 家族看護研究会



家族看護学研究室では家族看護を様々な理論やツールを用いて分析

今回は、家庭の中に精神疾患を抱えた家族がいる状況を

家族療法の視点から看護師の対応について検討します。

事例紹介

統合失調症を持つ姉妹に対して訪問看護を開始した。
父は過干渉、母はADHD疑いがある中、姉妹が家族に振り回されて
いると感じ、訪問看護師は戸惑っている。
家族・姉妹に対し、どのように対応していけばいいのか？

プロフィール: 渡邊俊之教授
東海大学大学院 健康科学研究科 社会福祉学専攻
日本家族研究・家族療法学会第10代会長
家族療法、精神分析的な精神療法、リハビリテーション心理学
病人や障害者の心のケア、病人や障害者を抱えた家族（介護家族）
への心理的サポートと地域サポートについて研究されている。

2016年9月24日 土曜日

13:00~16:00

場所: 大学伊勢原キャンパス 3号館1階会議室

アクセス: 小田急小田原線「伊勢原駅」下車徒歩20分

バス10分(東海大学病院下車)

問合せ先: 0463-93-1121(代表) 担当; 井上

研究会ホームページ: <http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>

メールアドレス: kazoku@tokai-u.jp

